

令和4年度 日本大学文理学部個人研究費 研究実績報告書

所属・資格 中国語中国文化学科・助手

申請者氏名 山本 優子

研究課題		現代中国文学における農民生活の描写について
報告の概要	研究目的 および 研究概要	世界恐慌後の1930年代初頭、洪深の『香稻米』、茅盾の『春蚕』、葉紫の『豊収』、葉聖陶の『多収了三五斗』など豊作がもたらした災難に関する作品が書かれた。これら作品の共通点や相違点、また作品の中でテーマとなっている農村生活や農民の経済状況、苦勞について考察する。その他、中国の農村での生活を題材とした別の作品とも比較し、当時の中国農村での生活や農民の生き方を明らかにしていくことを目的としている。
	研究 の 結果	今年度は前年度に引き続き、夏衍が茅盾の原作を改編して書いた映画シナリオ『春蚕』について研究を行った。『春蚕』は豊作がもたらした災難に関する作品だが、「豊作がもたらした災難」の原因について考察していく中で、世界恐慌による影響だけでなく、日本の影響が少なからずあり、1931年に起こった満州事変やその翌年に起こった第一次上海事変、日本の生糸輸出による影響もあることがわかってきた。 また、『春蚕』の反迷信描写は当時の社会情勢によるものだけではなく、夏衍の母親による影響も大きいということも明らかになった。
	研究 の 考察 ・ 反省	今年度は『春蚕』だけでなく『春蚕』の続編であり、農民生活を豊作がもたらした災難に関する作品、洪深の『香稻米』、葉紫の『豊収』、葉聖陶の『多収了三五斗』などに関する資料の収集や研究を行い、さらに作品が書かれた1930年代の歴史的背景に関する資料の収集及び整理を行った。 収集・整理した資料のまとめ・考察を行い、論文の執筆に着手したが、検証対象が広範囲にわたり、論文として成果を発表するには、なお時間を要する。 今年度も思うように資料収集や閲覧ができない状況が続いていたが、来年度は海外での資料収集や国内図書館等での資料閲覧も進めていきたい。 次年度は論文を完成させ、成果物を発表することを予定している。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所  研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	研究発表・研究成果物なし。 今年度の「中国語中国文化」に掲載することを目標としていたが、完成に至らなかったため、来年度の「中国語中国文化」に掲載する予定である。	